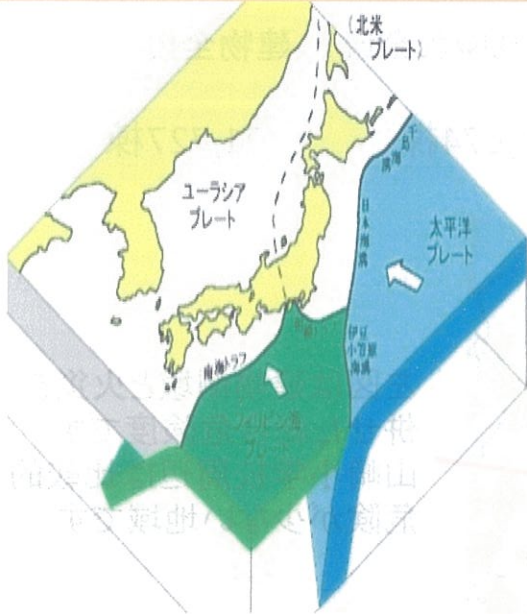
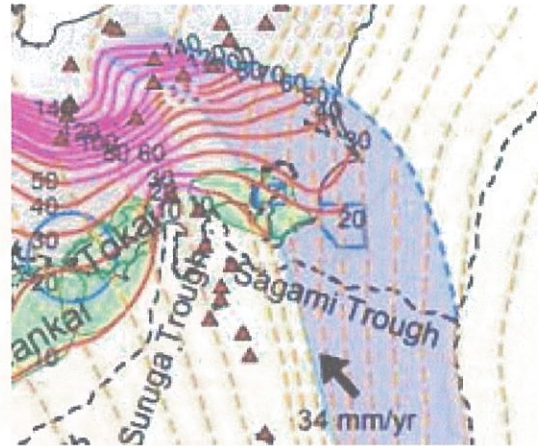


地震—首都直下地震と防災

首都圏ではいろいろな地震

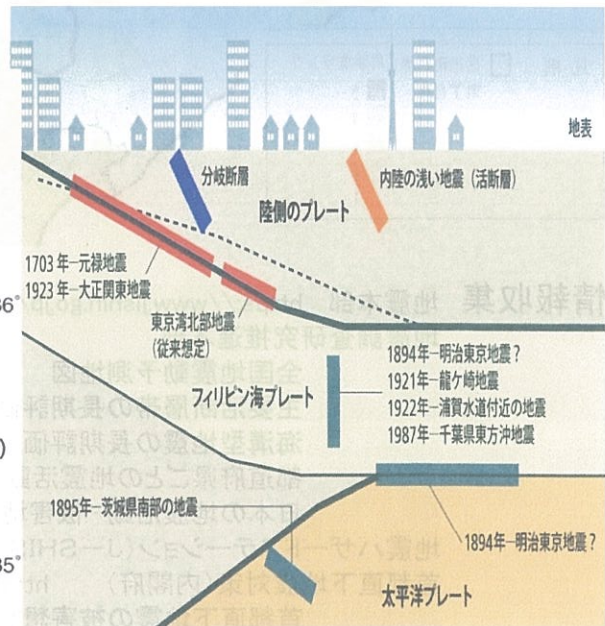
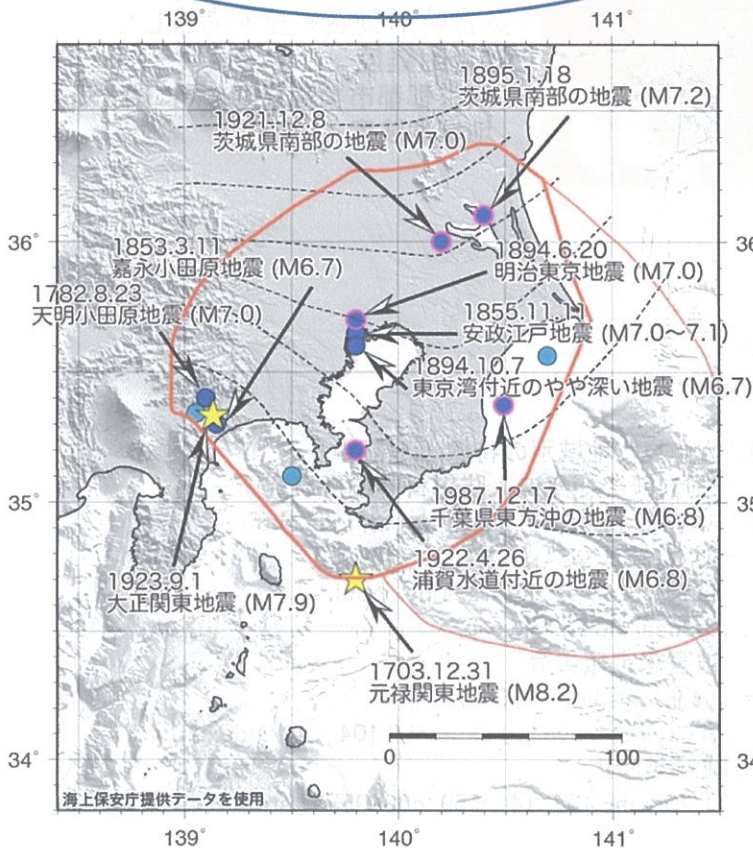


首都圏の下に
南からフィリピン海プレート(浅)
東から太平洋プレート(深)が
沈み込んでいる



首都圏の地震
2つのプレートの中で歪★★
異なるプレートの中で歪★
陸の歪(活断層)★

江戸時代からの地震を分類 内閣府



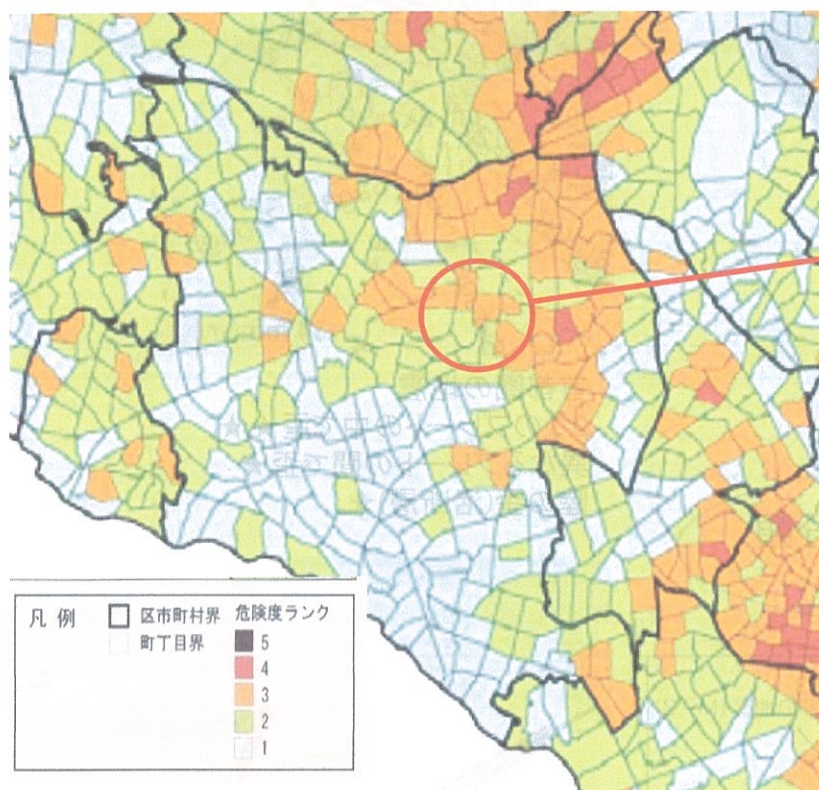
太赤線の範囲の地震を調査
(細赤線は最大の地震の震源域)

- : 評価対象地震
- : 大正関東地震(1923)の余震
- : 明治以降の地震
- ★: プレート境界の大地震(M8)

世田谷区の被害想定

東京湾北部地震(冬の夕方18時、風速8m/秒)

震度6弱	震度6強	死者(内火災)	建物ゆれ全壊	建物全焼
33.2%	66.8%	655人(411人)	6,074棟	21,727棟



左図は建物倒壊と火災を併せた総合危険度です
山崎小学校周辺は比較的危険が少ない地域です

災害時活動困難度を考慮した
総合困難度
東京都都市整備局 地震に関する
地域危険度<HP>

情報収集 地震本部 <https://www.jishin.go.jp/>
地震調査研究推進本部

全国地震動予測地図
主要活断層帯の長期評価
海溝型地震の長期評価
都道府県ごとの地震活動

日本の地震活動-被害地震から見た地域別の特徴-(改訂中)

地震ハザードステーション(J-SHIS)-国立研究開発法人防災科学技術研究所-

首都直下地震対策(内閣府) <http://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/index.html>

首都直下地震の被害想定と対策について

http://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/taisaku_wg/index.html

東京都防災ホームページ <http://www.bousai.metro.tokyo.jp/>

首都直下地震による東京の被害想定報告書

<http://www.bousai.metro.tokyo.jp/taisaku/1000902/>

世田谷区 防災・災害対策 <http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/104/141/index.html>

世田谷区地域防災計画[平成29年修正]

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/104/141/559/d00005567.html>

地震から命を守るイメージトレーニング

巨大地震をイメージして、リアルに自分の状況や気持ちを想像して書いてみよう

条件設定 BOX

地震直前の状況を設定しよう

主人公の名前 **山崎 A 子**

- 季節 11月 ●天気 晴れ
- 発生時刻 13:30 ●震度 6強
- そのとき家族はどこに

名前	場所
A 子	自宅
B 夫	会社にいるはず
C 介 (中1)	世田谷中
D 美 (小4)	山崎小
E 太 (5才)	山崎幼稚園

- 自宅 木造一戸建て 築15年
- 地震対策 非常持ち出し袋 家具の固定

スタート

地震発生

1分後 大きな揺れが収まる
5分後 揺れが断続的に続いている
10分後 余震 大きい揺れ

E太のお迎え準備で自転車にまたがろうと...

- 地面が波打つような揺れ。ドアを開ける
- 立ってられない。自転車が倒れる
- 電柱が傾く。道路の真ん中で身をふせる
- 近所の住人が外へ飛び出してくる

首都直下型?!

- まわりは騒然としている
- 自宅の倒壊はない
- 古い家では瓦が落ちている
- 屋内は物が散乱している
- 家具は固定してあるので、倒れてはいない

インフラの確認

- ブレーカーを落とす
- ガスもチェック (止まっている)
- 水 (でない)
- 電気 (停電)
- 携帯電話つながらず
- LINEが使える→夫へメッセージ

子どもたちをどうする?

- 子どもたちと避難所へ行くことにする
- 学校の対応はどうなっている?いつまで預かってくれる?

引き取りの順序を決める

- 避難所は小学校
- 1. C介を迎えに中学校へ行き、
- 2. D美とC介を小学校で待たせて、
- 3. E太のいる幼稚園に、一人で迎えに行く

地震発生時 あなたは何をしている? どうやって命を守る?

避難所の開設はいつ?

小学校に到着

- D美を引き取る。思わず抱き合う
- 残っている子どもも落ち着いているが不安そう
- 避難所に人が集まっている

徒歩5分ほどの中学校へ

- 非常持ち出し袋や身の周りのものを持って、C介を引き取りに中学校へ
- C介と一緒に小学校へ行く

- 見たところ火事はない?
- 道路の様子は? どの道なら安全に通れそう?

お迎えのルートには何パターンがあるか

留守にするときの防犯対策は?

子どもの安否確認は? 地域の小中学校の連携体制はあるのか?

園・学校に Twitter、LINE、HP などはあるか?

- 幼稚園からも連絡手段が限られ、お迎えに来ていない保護者の所在はつかめない、とのこと

勤務先の建物が無事なら無理に帰宅を急がないのもひとつの判断

- E太と2人で、周りに気をつけつつ小学校へ。子ども3人がようやく一緒になる
- B夫とLINEで連絡がつく。会社についていつ戻れるかわからないとのこと。無事でよかった
- 顔見知りも多いので避難所は心強いが、人で溢れていて、とても寝泊まりできるスペースはない。余震は怖い、ひとまず、自宅に戻ることにする

行政の救援物資が届くのはいつごろ?

夜、強い余震

【3】時間後 【2】時間後 【1.5】時間後 【1】時間後

【4】時間後 1日後 2日後 3日後 1週間後.....

ライフライン復旧にどれくらいかかるか知っていると、避難後のシナリオが進めやすい

主なライフライン復旧までのめやす
○水道や電気、通信は、数日~2週間程度で復旧 ただし、電柱が倒れるなどの被害が出た場合はそれ以上になることも。
○ガスは、1カ月程度 ○下水道は、仮り復旧に1カ月以上 液状化による被害の場合は、本復旧に1、2年かかることも。

- 周囲が真っ暗のなか、物が散乱したままの室内に戻り呆然とする。非常用ランプを設置し、割れた食器やガラスなど危険物を片付けて、とりえず子どもたちと安全に眠れるスペースを確保
- 時々、強い余震に襲われ、生きた心地がしない。スマホやラジオで情報を収集しながら、子どもたちと不安な夜を過ごす。

スマホの非常用充電器や災害用ラジオはある?

- 翌朝、あらためて家の様子を確認。見ただけではわからず心配
- 自宅にいるのも心細いので、避難所へ行く。夕方には、救援物資が届き、温かい食べ物を皆と一緒にいただく。ありがたい
- 避難所のTVではじめて被害の様子を知る

- 自宅で片付けをしていると、B夫が帰宅。3日ぶりに家族全員が再会できた。喜びのあまり、E太が泣き出すと、D美、C介も堪えきれずに泣き出した。無事とは知りつつも、みんな不安でいっぱいだったんだらう。ほんとうによかった

- 実家への交通手段が確保できたので、実家に移ることに
- 自宅に住み続けることに心配があり、仮住まいをしながら、今後のことを考えねばならない。先行きが不安

大震災では、子どものために疎開も選択肢に

ゴール!

Happy End

地震から命を守るイメージトレーニング

巨大地震をイメージして、リアルに自分の状況や気持ちを想像して書いてみよう

条件設定BOX

地震直前の状況を設定しよう

主人公の名前

●季節は 月 ●天気は

●発生時刻は ●震度は

●そのとき家族はどこに

名前	場所

●自宅

●地震対策

スタート

地震発生

1分後
大きな揺れが収まる

5分後
揺れが断続的に続いている

10分後

30分後

地震発生時
あなたは何をしている？
どうやって命を守るか？

--	--	--	--

【 】時間後 【 】時間後 【 】時間後 【 】時間後

【 】時間後

ライフライン復旧にどれくらいかかるか
知っている後半のシナリオが進めやすい

主なライフライン復旧までのめやす
○水道や電気、通信は、数日～2週間程度で復旧 ○ガスは、1カ月程度
○下水道は、仮り復旧に1カ月以上 液状化による被害の場合は、本復旧に1、2年かかることも。

1日後 2日後 3日後 1週間後.....

--	--	--	--

ゴール！

Happy End



第3回家庭教育学級 ハートフルセミナー 「育もう！子どもの夢～健康な心とからだ～」

防災ワークショップ

いざ、その時のために。

大地震・その時、山崎小学区がどうなるのか！？

実施報告書

11月21日(水) 9:45～12:00山崎小学校ランチルームにて、今年度最後のハートフルセミナーを開催いたしました。当日は校長先生・副校長先生をはじめ、梅丘1丁目町会長(山崎小避難所運営本部長)の野武さん、26名の保護者の皆様のご参加をいただきました。お忙しい中、ありがとうございました。

セミナーで学んだことや参加された皆様のご意見・ご感想等を報告いたします。

第1部 レクチャー【首都直下型地震について世田谷区で警戒すべきこと】

講師：石坂 信之氏

江戸時代からの地震の分類や近年の調査・研究から、首都圏ではプレートの沈み込みによる歪が起こす、いろいろなタイプの地震が想定されます。南関東は地震の活動期に入っており、マグニチュード7クラスの地震がいつ起きてもおかしくありません。山崎小学校周辺は、地震被害における危険が比較的少ない地域ではあります。



第2部 ワーク【ハザードマップの読み解き・防災絵巻によるシミュレーション】

司会進行：阿部 佐紀子さん

- ①「世田谷区防災マップ」・「梅丘地区防災マップ」・「洪水ハザードマップ」の説明。
- ②各自で、自宅からの避難経路・危険度等を確認、疑問点等をメモ。
- ③全体で「防災絵巻(A子さんの場合)」の読み合わせ(地震から命を守るイメージを持つ)。
- ④地震が起きた時をより具体的にイメージし、予想される各自の疑問点やその時の行動について、グループ内で意見を出し合う。
- ⑤各グループで出た疑問や気づきを発表・全体で共有。
- ⑥阿部さんによるまとめ(アドバイスや情報提供等も)。

※防災絵巻：「目黒巻」(災害発生からの周辺の状況と自分の行動を、時間の経過と共にイメージするツール)をもとに作成。



多くの参加者から共通してあげられた疑問…『避難とは？』

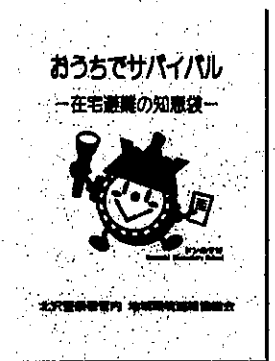
- 避難のタイミングは？
- どこへ行けば良いのか？
- 何を持って家を出たら良いのか？
- 病人や障害のある家族を一般の避難所に連れて行くべきか？
(受け入れ体制はあるのか？)
- 指定の避難所以外でも受け入れてもらえるのか？
- ペットを連れて行っても良いのか？

**『避難』について、全ての人、全ての家庭にあてはまるような『正解』は無い。
各々にとっての『最善な方法』を考え、備えることが大事。**

ということを今回のワークで学びました。

今回のセミナーでも参考資料として使用した、世田谷区が作成・配布している『災害時区民行動マニュアル』では、避難について次ページのように記されています。

また、『東京防災』、『世田谷区防災アプリ』、『おうちでサバイバル』(1年生は先日、2～6年生は昨年度、PTA校外委員会より配付済み)等も参考に、自分の家庭における「避難」について、ぜひ考えてみましょう。



『避難』について 参加者からのご意見・ご感想

(ワーク・アンケートより)

- 避難所が、災害発生後、すぐには開設されないと知り勉強になった。
- 在宅避難が基本。自宅の備えが大切。
- 自分が住んでいる地域の指定避難所がどこなのか、確認が必要。



山崎小学校 ← 梅丘1丁目全域、代田3丁目全域
世田谷中学校 ← 梅丘2丁目全域、梅丘3丁目全域
若林小学校 ← 若林1丁目11～32番、2丁目7～41番、3・4・5丁目全域

- 避難所には飲料水の備蓄は無いので各家庭での備えが必要。
- 母子避難所や福祉避難所等、特別な避難所があることを初めて知った。
- 避難する際には施錠やブレーカーを下す等、防犯・防火対策も重要。

2. 避難はこうする

地震が発生したら、区民や事業所等で協力して出火防止、初期消火に全力を尽くすことが重要です。しかし、火災の拡大をくい止めることができなかつた場合など延焼範囲が拡大し、生命に危険がせまった時には避難を行います。

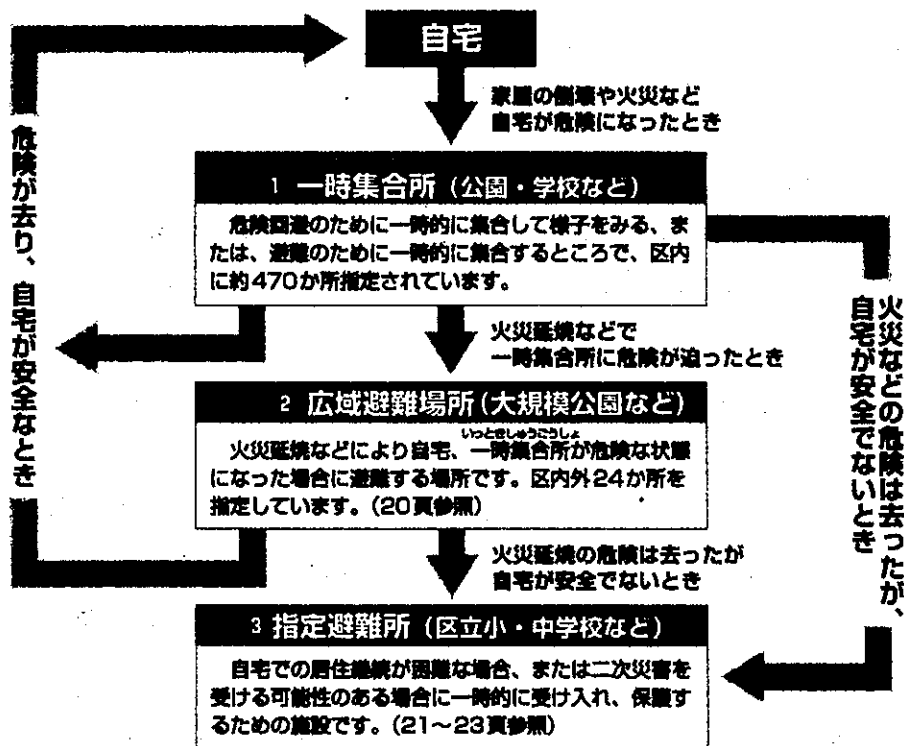
(1) 避難する時

地震が発生したからといってただちに避難するというものではありません。しかし、必要な時はいつでも避難できるように、準備をしておきましょう。

- ①区や、防災関係機関の避難勧告や避難指示があつた時
- ②避難指示がなくても防災区民組織等が避難の必要があると判断した時
- ③周辺地域に火災が発生し、延焼の危険がある時

(2) どこに避難する？

避難勧告や避難指示が出た時や自主避難の時でも、基本的には下記の①から③の手順で避難します。



(3) 在宅避難のすすめ

避難所は、スペースや備蓄に限られており、周辺の住民全員を受け入れることはできません。基本的には、自宅の倒壊や火災等により生活ができなくなった方のために開設されます。

そのため、区では自宅が安全な場合、避難所生活ではなく自宅での生活を続ける「在宅避難」とそのための備えをすすめます。

『家庭での備え』について参加者からのご意見・ご感想

(ワーク・アンケートより)

- 近所付き合いを大切に。日頃から、いざという時に助け合える関係作りを。
- 家族の集合場所等、いざという時の家庭内のシミュレーションが必要。
- スマホや携帯に頼らず、必要な連絡先(電話番号)を控えておく・覚えておくべき。
- 公衆電話のかけ方を子どもと練習しておく必要がある。
- 家族の状況や防災情報も日々変化するので、備蓄品も含め、いろいろな備えをマメに見直さなければ、と痛感した。
- トイレ対策の重要性を改めて痛感した。
※配管が破損している等の危険性がある為、許可が出るまでは絶対に水を流さない！！※
- 自宅マンションの防災ルールを確認しなくては、と思った。
- ローリングストック法(普段から少し多めに食材、加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法)やアウトドア用品の活用等、身近な方法があると知り、勉強になった。



セミナーで出た質問についてお伺いしました

- Q. 区役所周辺の若林公園～国士舘大学との境にある烏山緑道沿いの崖崩れの危険性は？
- A. 様々な情報を総合して考えると、若林公園～国士舘大学との境にある烏山緑道沿いは崖崩れの危険性があります。階段、スロープ、建物の崩れも考慮すると、一帯は安全な場所とは言えません。(講師の先生方から)
- Q. 災害時、外に出るタイミングの見極め・危険度の判断基準についてのアドバイスがあったら、ぜひお伺いしたいです。
- A. 戸建てかマンションか、居住階数、築年数、建築構造、住環境等の条件により様々なリスクが想定されるため一概にお答えするのは難しいのですが、事前に「災害時に何が起こり得るかを、どれだけバリエーション豊富に想像して対策しておけるか」が大事、ということと言えるかと思います。(講師の先生方から)
- Q. 近所の『震災対策用井戸』は、非常の際どのようにすれば使用できますか？
- A. 個別に所有者に許可を頂いた上でご使用ください。(世田谷区・地域振興課防災担当)



家庭教育学級委員の気付き

講師の先生方とお話を重ねるたびに、自然災害である地震にはイメージして備えることが大事だと感じました。今回のワークショップでも、参加した皆様から沢山の「？」が出ました。今回だけで終わらせずに、忘れないこと、意識すること、行動すること、伝えることが、自分と家族の命を守ることにつながると感じました。ご参加いただけなかった方はぜひ参加された方に話を聞いてみてください。